

近事研

近畿 ねっとわーく

第57号

2015. 3. 23

～ 編集・発行 ～

近畿公立小中学校事務職員研究会

会長 西畑ひろみ

所在地 香芝市立三和小学校

奈良県香芝市良福寺665-2

0745-76-5260

<http://www.kinjiken.jp/>

平成26年度 近事研学校事務セミナー報告

「これからの学校経営と学校事務職員の役割 —学校間、地域連携を軸に—」

講師 京都産業大学 文化学部教授/教職課程教育センター長
西川 信廣 様



平成27年2月24日、大阪府教育会館にて、近事研学校事務セミナーを開催しました。

研修会として、京都産業大学文化学部教授であり教職課程教育センター長にも就任されている西川信廣様に「これからの学校経営と学校事務職員の役割—学校間、地域連携を軸に—」という演題でご講演いただきました。

まず学校教育力向上をめざす様々な取り組みとして、小中一貫教育に対する国の動きや全国調査から見られる成果、コミュニティスクールの現状について教えていただき、今後学校と家庭・地域、学校と学校との連携がますます重要な課題になっていくことを改めて実感しました。

そのような中「学校事務職員は何をなすべきなのか」その問いに対し西川先生は「小中一貫教育を推進し、中学校区のネットワークを作る。それによって地域住民、保護者から信頼される学校となり、学校は地域、保護者から支援を受けることができる。事務職員にはその環境づくりを期待する。コーディネーターとしての事務職員の役割が求められる。」と述べられました。

また、学校の組織としての力を強め、曖昧な教育目標ではなく、組織として何ができるのか。この地域で9年間育った子には何ができるようになるのか。具体的にとことん議論しあうことが必要である。というお話もあり、学校の実態をズバリ突かれ、思わず頷いてしまいました。

学校の教育力向上をめざす様々な取組を学校事務職員が自分の言葉で語れるようにすること。そして学校事務職員は活躍の舞台を自分たちでつくらなければならない。という言葉が大変身に染み、明日から一歩ずつがんばろうと思える研修でした。

<文責 藤後 華生>



第1回調査研究部会
を1月に開催しました。

「近畿の課題は何だろ
う？めざすべき地点は
どこなのだろうか？」とい
うことで、まずは課題を
出しました。今後検
討を重ね、皆様に報告で
きるような調査研究を
していきたいと考えて
います。よろしくお願いします。（片岡）



平成26・27年度の近事研調査研究部員です。

どうぞよろしくお願ひします。

	氏名	単位研究会名
部長	片岡 和美	滋賀県公立小中学校事務研究協議会
部員	大澤 あゆみ	神戸市立小学校事務研究会
〃	都志 哲平	神戸市立小学校事務研究会
〃	直井 義行	大阪府公立学校事務研究会
〃	作元 信行	大阪府公立学校事務研究会
〃	上田 幸子	奈良県公立小中学校事務研究会
〃	梅田 直子	奈良県公立小中学校事務研究会
〃	河野 真澄	京都市立学校事務研究会
〃	大伴 真弓	京都市立学校事務研究会
〃	中嶋 多恵子	滋賀県公立小中学校事務研究協議会
〃	堀井 直樹	滋賀県公立小中学校事務研究協議会

お知らせ

次回 近事研研究大会は

29年 全事研京都大会 と同心円開催です！

27年

28年

29年



平成29年8月2日(水)～4日(金)開催予定！

メイン会場 ロームシアター京都

1200年を超える都の歴史を有する京都は、明治5年の「学制」発布に先駆け、明治維新・東京遷都という激動の中の明治2年に京都の町衆の意欲が小学校建設の基盤となり日本最初となる64校もの番組小学校（学区制小学校）を創設するなど、日本の近代教育発祥の地といわれています。

京都の町は通りが基盤の目ようになっており、角から角がひとつの「町」を形成しています。明治時代になるまで幾度も町中が戦場になり、その度に家などを焼かれた人々は手を取り合い、いくつもの町が集まって自警のための町組をつくりました。明治2年、この町組に番号を付け、そこにひとつずつ小学校を建てました。これが番組小学校と呼ばれる日本初の学区制小学校です。京都の番組小学校は単に教育の場だけではなく、番組の自治機能である町会所を兼ね、区役所、警察署、消防署、保健所などの役割も果たしていました。

現在、京都市ではこの番組小学校の伝統を受継ぎ、教育活動を市民ぐるみ・地域ぐるみで行い創意あふれる学校づくりを推進しています。

さて、平成29年度 第49回全事研大会が京都で開催されます。年次別テーマは「地域協働」で、京都大会にふさわしいテーマとなっています。大会運営や分科会では近畿のみなさまにご協力いただきたいと思っております。

「近畿はひとつ」のエールを京都の地から全国に響き渡らせましょう。

